

令和7年度第1回勝浦市部活動地域移行検討委員会 開催概要

■日時 令和7年10月23日(木) 10時00分～11時45分

■場所 勝浦市役所 401会議室

■次第

1. 開会
2. 委嘱状交付・委員紹介
3. 教育長挨拶
4. 議事
 - (1) 委員長、副委員長の選出について
 - (2) 勝浦市における部活動地域展開の方向性について
5. その他
6. 閉会

■出席者

- 【委員】 勝浦市スポーツ協会会長 酒井正廣
勝浦市スポーツ推進委員連絡協議会会長 長田悟
勝浦市芸術文化団体連絡協議会会長 関野敬子
勝浦市立勝浦中学校PTA会長 佐藤啓史
勝浦市立勝浦中学校校長 岡安和彦
国際武道大学教授 嶋崎雅規
国際武道大学教授 木村寿一
勝浦市教育委員会教育長 岩瀬好央
- 【事務局】 生涯学習課長 渡邊友人 生涯学習係長 鎌田晃治
学校教育課長 紫関左恭 学校教育係長 栗原智

■議事要旨

議題1. 委員長・副委員長の選出

委員長に酒井正廣委員、副委員長に嶋崎雅規委員が選出された。

議題2. 勝浦市における部活動地域展開の方向性について

基本的な考え方

学校部活動の教育的意義を踏まえ、既存の「勝中・部活動サポータークラブ」を地域全体で支える運営体制に段階的に移行する。これにより、学校部活動としての活動環境を確保しつつ、教職員の負担軽減を図る。

運営体制の段階的移行(ステップ1～3)

- ステップ1(令和6～7年度):
地地域人材による学校部活動のサポート。外部指導者は無償ボランティア。
- ステップ2(令和8～9年度)
学校部活動のサポート体制の拡大。外部指導者を有償化(1日1000円程度を想定)。
- ステップ3(令和10～11年度)
地域全体による学校部活動の実施体制の強化。会計年度任用職員として「部活動指導員」を雇用し、指導体制を強化する。市役所職員の副業としての活用も視野に入れる。

推進計画の策定

今年度中に、休日における部活動の地域展開完了までの計画を策定し、県に提出する。
勝浦市においては令和 11 年度までの計画を策定する。

委員からの意見・質疑

研修の必要性（嶋崎委員）

外部指導者・部活動指導員の質を担保するため、研修の実施を義務付けるべき。大学としても研修実施には協力可能。

活動の活性化（嶋崎委員）

生徒数が少ない団体スポーツでは、地域住民と一緒に活動に参加できるような仕組み作りが望ましい。地域住民が部活動に参加する場合は参加費を徴収することも検討すべき。

マルチスポーツの導入検討（嶋崎委員）

様々なスポーツに取り組める部活動を設けることで、生徒の多様なニーズに応えることができるのではないか。

活動場所の確保（長田委員）

休日等に部活動に地域住民が参加する場合の活動場所について、中学校の施設だけでなく、武道館研修センターや荒川テニスコートなどの活用も検討すべき。

教員の異動と指導の継続性（木村委員）

指導に熱心な教員が異動した場合の対応や、外部指導者と教員の役割分担について検討が必要。

予算の確保（岡安委員・佐藤委員）

外部指導者の有償化や部活動指導員の雇用には予算措置が不可欠。委員会として市に予算確保を要望すべき。

地域に支えられた学校活動（岡安委員）

部活動に限らず様々な活動が地域住民に支えられた学校運営を目指すべきでは。部活動の地域展開については休日のみの話ではないと捉えている。

有効性と危険性（長田委員）

大学生による技術指導は有効。トラブル防止のため学校側と外部指導者や部活動指導員との意思疎通を十分に行うべき。

報奨制度（佐藤委員）

大会で優秀な成績を収めた生徒や、県の強化指定選手に選ばれた生徒への報奨制度の充実を検討願いたい。

結論・今後の進め方

- 今回提示された「地域連携イメージ案」をベースに本日の意見を踏まえた修正を行い、勝浦市としての基本方針とする。
- 指導者の質を担保するための研修制度の構築、予算の確保が今後の重要な課題となる。
- 検討委員会として、市に対し予算確保及び市役所職員の就業ルールの見直し等の要望書を提出することとする。（書面確認は委員長に一任）
- 必要に応じ次回会議を開催する。